

磐城時報

第二十二日 十月十日
印刷所 磐城時報社
印刷部 加納活版所
電話 磐城時報社
電話 加納活版所
電話 加納活版所
電話 加納活版所

今拂曉を期して

平署歳末特別警戒

獲物は案外に少い

平署では十九日午後十一時を期し全署員の非常召集を行ひ歳末特別警戒を實施したが獲物は案外に少く湯本町に無銭飲食賭博一件ありたゞけて炭礦景氣に惠まれてゐる歳末の炭礦街には例年の如く窃盜犯の影もなく平穩に終つた。

國母陛下御仁慈

回春園患者に御下賜長くも皇后陛下には石城郡豊間村回春園構内の日本赤十字社本縣支部結核療養所入院患者四名に對し各木綿反物及び裏地に裁縫料を添へて賜はるの御沙汰あかつたのは齋藤警部補で二十日たる旨徳川同社長より伊藤支日午前一時までに全署員參集部長へ十八日夜通知があつた。

平局の年賀狀取扱

愈よけふから開始

正午までに二千通を突破

特別陣容整ふ

年賀狀いよいよ氾濫——平局の年賀狀特別取扱は今廿日から開始されたが正午現在の引受數は約二千通、まだ序の口で例年とも廿八日ごろが最絶頂で引受、到着ともに繁忙を來すが今年度は明春の總選挙や景氣好轉を反映して發着百五十萬通突破は後確實だからこれでもまだ手不足だと局員はいまから早くも悲鳴を擧げてゐる。

未完成豊間漁港

第二次改修陳情

豊間村の漁港は工費十三萬圓で第一次修築を完成したが波浪のため港内に波に埋もれ避難港として使用に耐えず縣費十七萬圓の改善普及の域に達した功勞に對して欲しいと鈴木村長外出縣齋藤氏は東大農科出身である。

上水道敷設の恩人

伊坂元町長逝く

十八年間の治績なほ燦たり!

平町銀治町元町長伊坂正翁その急逝は一般から非常に惜まは豫て宿病のため自宅で療養中永眠した、享年八十二
葬儀は廿二日午後一時自宅出棺大寶寺に於て告別式を執行する
翁は明治十二年行方多郡(現在の相馬郡)書記を振出しに縣内各郡書記を歴任、北海道廳書記を経て明治廿九年八月十三日平町長に就任、實に五期十八年六ヶ月の長期間に亘つて在職、その間上水道敷設の大工事を敢行した外幾多の治績枚擧げに遑まらず名町長としての敬腕を顯はれた大正十四年二月辭任、在任中の功勞に對し町會の決議により慰勞金一萬圓を贈られ、爾來裕々自適閑生を樂しんでゐたが

高久村道改修

凶作救濟事業で施工

高久村では凶作救濟事業として工費千六百圓を投じて大字高久字奥山内村道改修工事を施工することになり十六日から着手した。

食肉研究家

齋藤氏表彰

平町田町三三三屋肉店主齋藤敏實氏は過去二十有五年間食肉方面から牛の研究努力し遂に今日國で防波堤の築造並に浚渫工事よつて今回中央畜産會頭山本梯二郎氏から表彰状を贈られた。

サラリーマンに嬉しい

來年のカレンダー

日曜・祭日の重り殆んどなし
サラリーマンよ喜べ!昭和十年は實に日曜と祭日が度々重なりサラリーマンを少しく悲觀させてゐたが、翌昭和十一年のカレンダーを逸早くめぐつて見た處日曜と祭日が運悪く重つてゐるのは一月五日の新年宴會と第一日曜だけだから先、大いに喜び給へ。一年を通じての日曜は全部で五十二日、祭日が十一日であるが、その中祭日と日曜が折よく重なつたのが三月二十一日の春季皇靈祭と二十三日の第四日曜、夏を一足飛びに飛び越して十月十七日の神嘗祭と十八日の第三日曜、十一月二十二日の第四日曜と二十三日の新嘗祭など立ては如何デスカ。

魔窟に賣られた娘に

舊主が救ひの手

十九日午後「哀れな娘が魔窟に賣られてゐるから救つて下さい」と平署に SOS の手紙が舞込んだ——この願主は横濱市鶴見區潮田町九五八柴山隣平氏、哀れな娘は元同氏宅の女中で平町南町料理店第二新橋佐々木で賣られた山形縣西置賜郡荒砥町大木芳造長女つね(一八)娘は昨年九月から前記柴山氏方に女中奉公中去年十月十七日五才位の見知らぬ男が來て母を

大谷家の計

平町三丁目大谷時計店大谷久藏氏令息政雄さんは兼て病氣中處於十九日死去した、葬儀は二十一日午後二時大寶寺に於て執行する。

▲自營會理事會
平町自營會理事會は二十二日午後二時から開き免因保護の協議。

歳暮御贈答には……
中野洋品店
最新式ドコ帳簿
和洋帳簿
レミントン複寫紙
タイガー複寫紙
文具用品
文房具卸商 魁文堂
電話 115 番

かほつねも知らないが兩親が金欲しさから人を頼んでやつた、方では立派な周旋屋から世話されたもので誘拐者と承知で引取つたものではない。本人は酌婦は嫌だと云つてさかないのでまだ鑑札もつけず遊ばして置くやうな譯で金さへ拂つて下されば何時でも御返します。

料理組合 平町料理屋組
役員改選 合總會は十九日午後一時から谷口樓で開き、議案協議後役員を左の如く改選した。

組合長 渡邊傳三郎 三益幹治
酒井清(住吉屋支店) 古川事吉

草刈鎌で 鹿島村大字下
仇敵を斬 倉橋農鈴木重利(三六)は十七日午前十時ころ犬猿の喧柄であつた同子農鈴木重利(七一)を訪れ談話中些細なことから喧嘩となり重利は所持してゐた草刈鎌で重利の腹部を斬りつけ全治四週間の重傷を負つた。

十二月二十日ヨリ……五日間

三井の歳暮大賣出し

必ず御満足遊ばす、商品豊富!!値に!!柄に!!全商品大奉仕
御贈答格安品!! 絹布思ひ切つた大提供!!

贈るに便利
受けて重寶な
三井の商品券

絶讚 ◆ 初春向衣裳大特賣 錦紗小紋
新製品 ◆ 御婚禮衣裳大提供 錦紗小紋

江戸樓、丸帯、錦紗小紋、御召
羽二重紋付、袴地、御召二枚重

破格	越後	二五〇	レヨン小紋	二五〇
	木場村山大嶋	五八〇	全疋田邊〇袴向	一、五〇〇
	秋久 錦仙	三〇〇	縮緬風呂敷(箱入)	二〇〇
	昭和絹大嶋	一、八〇〇	モス 浴尺	二八〇

平町三井呉服店

電話二八四八番

理髮 東京

平町三丁目警察署通り

親切は「理髮・東京」の出発点
誠實は「理髮・東京」の生命線

漆器と家具は

和久井屋

電話四〇五番

時代要求

皆様の足!!

尼子タクシーへも

豆タクが入りました

御支關から御支關へ

迅速簡便是非御利用下さい

市内 三十錢
市外 四割引

流線型セダン 大型貸切バス

宮行直通は……三丁目尼子
自動車部より發車いたします

平町三丁目 尼子自動車商會

電話六四〇番

吉田眼科病院

平町紺屋町(電話六八番)

季節料理

よせなべ 30錢

その他……

- | | |
|--------------|------------|
| かきなべ………三〇 | 煮込みなべ………三五 |
| はもなべ………同 | 牛なべ………三五 |
| いかなべ………同 | 豚なべ………同 |
| ねぎまなべ………同 | 鳥なべ………同 |
| あんこなべ………同 | るび天ぷら………三〇 |
| ちりなべ………三〇 | いび天どん………三五 |
| あなごちりなべ………三〇 | るびふらい………三〇 |
| たらちりなべ………同 | かきふらい………二〇 |
| 酢のもの………二〇 | あんこも酢………二〇 |

等々始めました、何卒御試下さい。

平三警察署裏通り

魚清食堂

電話六三三番

御祝儀、御法事の仕出し
廉價に御引受け致します

RESTAURANT. TEA AND WINE

洋食 喫茶

コンパル

平町電六六六番

牛豚肉

平町田町
三三三三屋
電話三三三番

大藏省允許

無盡蔵

自製生金銀

前品金銀

趣味時器

平町

喪中に付年末年始の禮 御遠慮申上候

昭和十年十二月

平町二丁目

西村屋藥舖
鈴木堅助

父員正儀永らく病氣靜養中の處
藥石効なく二十日午前一時二十分
死去致候につき生前辱知諸氏に此
段告謹候也

追而葬儀は二十二日午後一時自宅出棺大寶寺に於
て佛式により告別式相替可申候
十二月二十日

男
親戚總代 伊坂道雄
伊喜忠衛
宮内喜助
高野伍郎
青沼榮太郎
友人總代 榎田太郎

息政雄儀永々病氣の處藥石 効無十九日午後四時五十分 死去仕候に付此段御通知申 上候

追而葬送の儀は二十一日午後二時自宅出棺大寶寺に
於て佛式埋葬可仕候
十二月十九日

平町三丁目

大谷久藏
外親戚一同

内科 小兒科
花柳病科

藤沼醫院

平町紺屋町
電話五〇七番